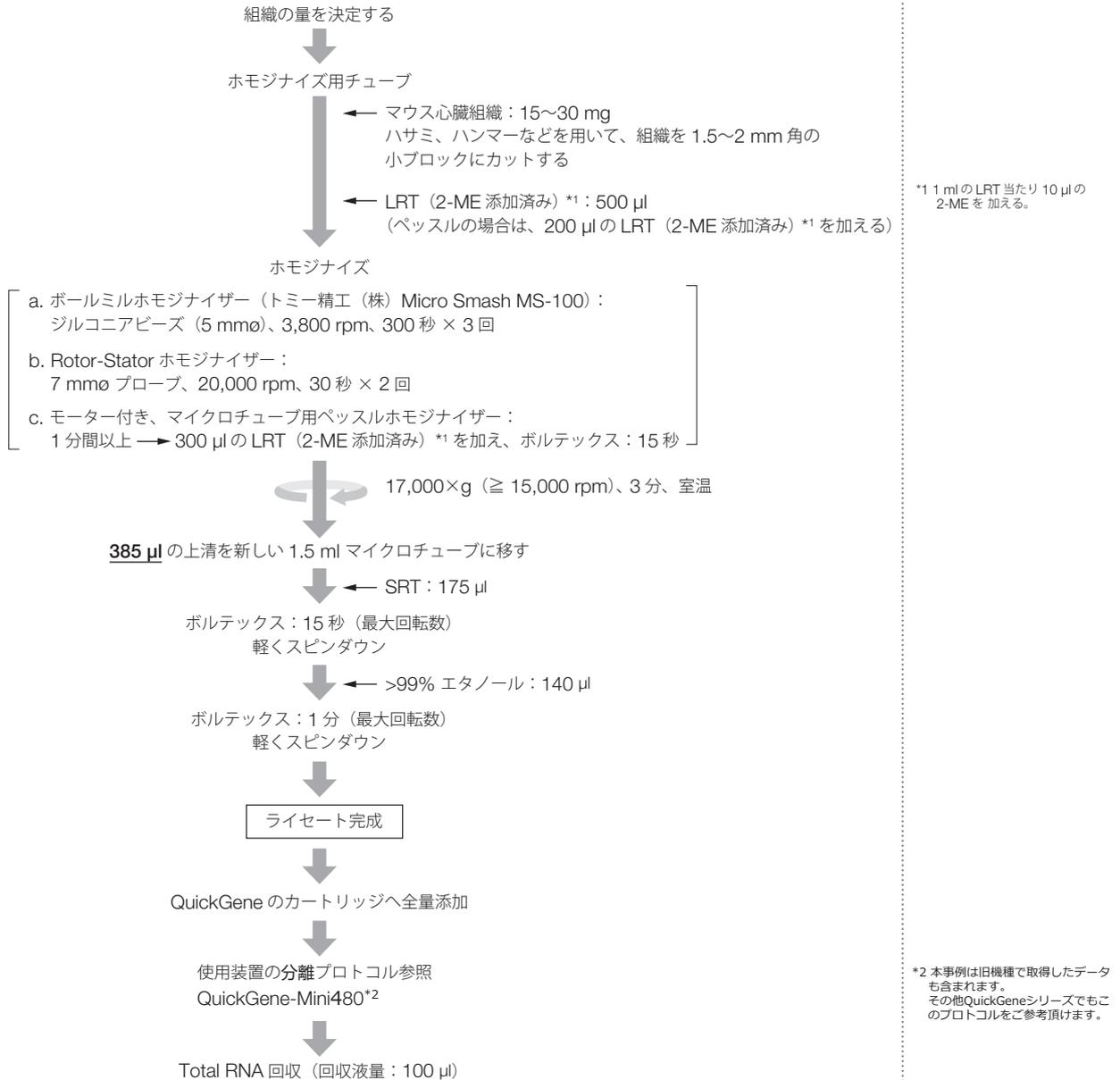
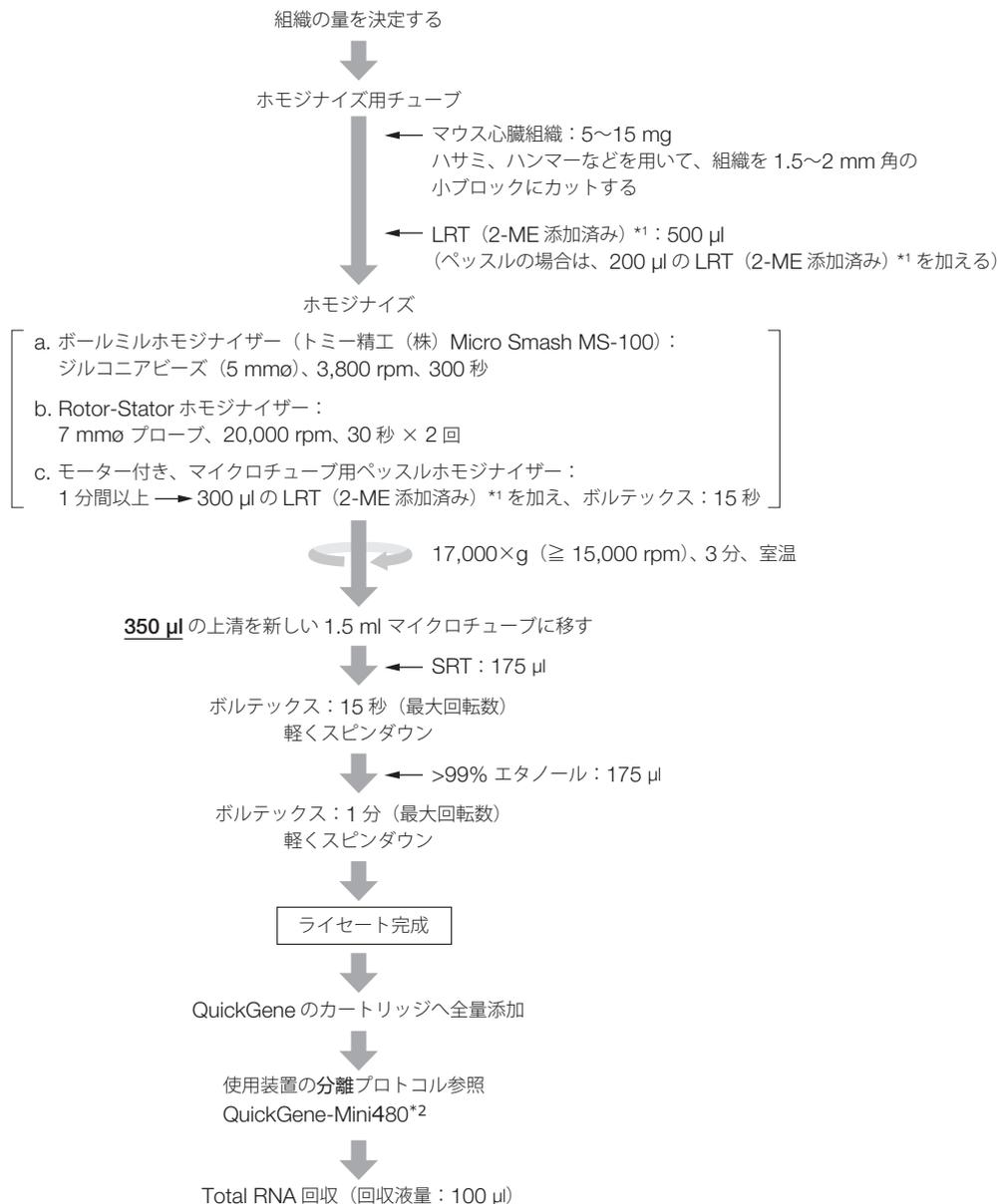


マウス心臓からの total RNA分離

プロトコル 1 (15-30 mg)



プロトコル 2 (5-15 mg)



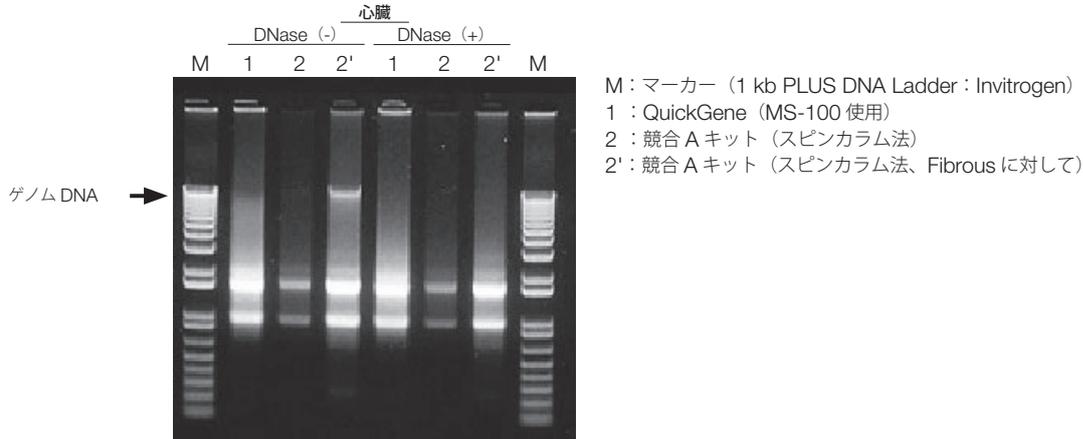
*1 1 ml の LRT 当たり 10 μ l の 2-ME を加える。

*2 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

結果

電気泳動図

Total RNA で、非変性アガロースゲル電気泳動を行った。
電気泳動条件：1% アガロース / 1 × TAE



心臓に対して、競合 A 社キット (スピнкаラム法) の場合よりもゲノム DNA 混入の少ない total RNA 分離が QuickGene システムで可能である。

Total RNA の収量

組織	ボールミルホモジナイザー (MS-100)			Rotor-Stator ホモジナイザー		
	組織の量	DNase (+)	DNase (-)	組織の量	DNase (+)	DNase (-)
心臓	30 mg	21 µg	23 µg	5 mg	4 µg	4 µg

タンパク質の混入：A260/280

組織	組織の量	A260/280	
		DNase (+)	DNase (-)
心臓	30 mg	2.37	2.33

(ボールミルホモジナイザー使用)

カオトロピック塩の混入：A260/230

組織	組織の量	A260/230	
		DNase (+)	DNase (-)
心臓	30 mg	2.18	2.16

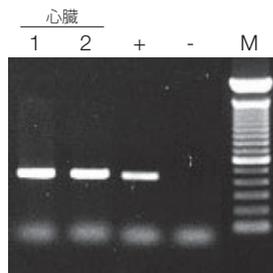
(ボールミルホモジナイザー使用)

その他

• RT-PCR

Total RNA で、RT-PCR を行った。

< RT 反応条件 >
 テンプレート：マウス心臓からの total RNA (DNase 処理あり) 500 ng
 酵素：SuperScript II (Invitrogen)
 < PCR 条件 >
 テンプレート：Total RNA (10 pg/µl) 相当量の cDNA
 プライマー：G3PDH プライマー
 酵素：Takara Taq Hot Start Version (TaKaRa)
 < 電気泳動条件 >
 1% アガロース / 1 × TAE



共通プロトコルサンプル

マウス小腸、マウス胃